



住宅関係者300人近くが参加したセミナーと座談会

住まいの屋根換気壁通気研究会

地味でも実務者の関心高く
セミナー・座談会に300人

断熱・気密化とともに、屋根や外壁に通気層を設ける必要性が... 断熱・気密化とともに、屋根や外壁に通気層を設ける必要性が... 断熱・気密化とともに、屋根や外壁に通気層を設ける必要性が...

「省エネ」そして「耐久性」へ

住宅外皮の耐久性向上を研究する住まいの屋根換気壁通気研究会... 中央区、神戸陸史理事長は2月19日、東京都内で技術セミナーと座談会「長持ちする住まいとは？」を開催...

座談会

取り合いの責任範囲あいま

建物の外皮はさまざまに、屋根や外壁に通気層を設ける必要性が... 断熱・気密化とともに、屋根や外壁に通気層を設ける必要性が...



石川廣三氏

それは関心が低い。たとえば窓で、枠と障子の取り合いは非常に熱心な研究が行われるが、枠(サッシフィン)と防水テープの取り合いはどうか。メーカーがそこまで守備範囲として考えているかといえ、疑問だ。



坂本雄三氏

耐久性という地味なテーマに300人近い人が集まるのは、そこに悩みが多いからではないか。部材の取り合いや窓まわりの仕様と責任がある。だが、ではどうすれば問題が解決できるのかという、現時点では、学問としてわからないことが多いところではないだろうか。(談)

部材選定の判断にも甘さが

車の部品は3万点といわれるが、住宅もさまざまな会社が営業にきて、そこから部品の組み合わせが決定される。最終的な判断は、いかもしれない。



松尾和也氏

それでも、工務店は瑕疵担保責任があるのだから、判断には最低限の知識と経験が要る。意外と、それを積んでいない実務者が多いかもしれない。

問題のオープン化が不可欠

雨漏りなどの問題が発生したとき、情報を集約・フィードバックするしくみに関しては、ハウスメーカーが優れている。



岩前 篤氏

抱えている問題をオープンにするのは大変だ。が、ハウスメーカーで起こっていることは工務店でも起こっていると考えた方がいい。そして起こっていることがわからないと、次の改善にはつながらない。起こっている問題をいかにオープンにしていくかが重要では期待したい。(談)

「八雲の大屋根・小屋根」「KIP」

国土交通大臣賞に2作品

I・BEC サステナブル住宅賞



国土交通大臣賞を受賞したKMKa一級建築士事務所は永美樹さん

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構(村上周三理事長)は2月20日、第6回サステナブル住宅賞の表彰式を行った。応募46作品の中から11作品を表彰。設計者、施工者、施工主を招き、設計者に賞状と記念品を手渡し、設計者が設計コンセプトを説明する入賞作品の報告会も行った。サステナブル住宅賞は、持続可能性の高い社会の実現を目指して、環境負荷が大きい住宅の省エネ化や低炭素化を先導する模範的な住宅を顕彰するもの。最優秀の国土交通大臣賞には、新築部門で「八雲の大屋根・小屋根」(設計:KMKa一級建築士事務所)と「板硝子協会の家」(設計:Y+M Design Office、施工:平田組、米子市)の2作品が選ばれた。

所、施工:池田組、長岡市
「建築環境・省エネルギー機構理事長賞」
◇陽の家II新築、設計:施工:啓作舎一級建築士事務所、浜松市
◇後山山荘II改修、設計:UID一級建築士事務所、大和建設、福山市
「ベターリビング理事長賞」
◇再生低炭素住宅II改修、設計:友建築事務所、施工:クレア工業、仙台市
「日本木造住宅産業協会会長賞」
◇稲城エコハウスII新築、設計:施工:アイケーホーム、稲城市
「板硝子協会会長賞」
◇雨の家II新築、設計:CAMELC一級建築士事務所、一級建築士事務所、空設計工房、川崎構造設計、サン設備設計事務所、施工:安恒組、福岡市
「硝子繊維協会会長賞」
◇木漏れ日の家II新築、設計:内田雄介設計室一級建築士事務所、施工:内田産業、稲城市
「奨励賞」
◇スタジオ・コンチエールテイノ岡山邸II新築、設計:一級建築士事務所井口直己建築設計事務所、施工:天保興業、町田市
◇雨やどりの家II新築、設計:Y+M Design Office、施工:平田組、米子市